学校番号	3010

令和5年度　工業（建築デザイン）　科

教科	工業	科目	建築計画	単位数	1 単位	年次	1 年次
使用教科書	建築計画（実教出版　工業３６２）						
副教材等	カラー版図解　建築の歴史　西洋・日本・近代（学芸出版）・プリント						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

講義と実例作品をとおして建築、自然、都市、内装などの建築を形成する部分と全体の関係について学びます。歴史的なものも含めた建築の事例を知っていくなかで、自身の位置づけや、社会はどうあるべきなのかといった問題についても考えます。建築を通して社会に貢献できる人材の育成をめざします。

履修条件

なし

2　学習の到達目標

・建築の学習を始める入門段階において、必須の基礎知識と基本的考え方、学問体系の成り立ちについて習得する。
・幅広い建築デザインの知識を身につけ、建築デザイン・建築設計に活用・表現できる。
・建築デザインにおける社会への役割を理解し意欲・関心を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a：知識・技術	b：思考・判断・表現	c：意欲・関心
観点の趣旨	建築デザインの各分野に関する基礎的な知識を身に付け、現代社会における工業の意義や役割をもとに実際の仕事を適切に処理する技能を身に付けている。	建築デザインの技術に関する諸問題の適切な解決をめざして、広い視野からみずから考え、基礎的な知識を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現する能力を身に付けている。	建築デザインの各分野に関する基礎的な知識を身に付け、工業の発展と環境・資源などとの調和のとれた在り方および現代社会における工業の意義や役割を理解してようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	ガイダンス	身近な空間を通し、建築の空間のあり方、人の動線や空間の快適性について見直す。	a:身近な建築空間を理解する。 b:よりよい建築空間を判断し、表現する。 c:建築空間を主体的に理解し、創造的に考えようとしている。	課題の取組状況	課題作品の完成度・定期考査の結果等	学習状況の観察
	建築史	日本の建築 西洋の建築 について学ぶ	a:日本及び西洋の建築の歴史について理解する。 b: 日本及び西洋の建築の歴史とそれにまつわる風土などを判断する。 c: 日本及び西洋の建築の歴史について理解し、今後の建築のあり方を考えようとしている。	プリント・ノートの取組状況	定期考査の結果等	学習状況の観察
2	建築史	近代の建築 について学ぶ	a: 近代の建築の歴史について理解する。 b: 近代の建築の歴史とそれにまつわる風土などを判断する。 c: 近代の建築の歴史について理解し、今後の建築のあり方を考えようとしている。	プリント・ノートの取組状況	定期考査の結果等	学習状況の観察
		現代の建築 について学ぶ	a:現代の建築の歴史について理解する。 b:現代の建築の歴史とそれにまつわる風土などを判断する。 c:現代の建築の歴史について理解し、今後の建築のあり方を考えようとしている。	プリント・ノートの取組状況	定期考査の結果等	学習状況の観察
3	都市史・まちづくり	日本の都市 西洋の都市 近代の都市 まちづくり について学ぶ。	a:都市の歴史について理解する。 b:今後にふさわしいまちづくりについて考えることができる c:都市とまちのありかたについて主体的に考えることができる。	プリント・ノートの取組状況	定期考査の結果等	学習状況の観察
	まとめ	建築の基礎的な知識について	a:建築の基礎的な知識を理解している b:建築のあるべき姿を考え、提案することができる c:建築の知識を主体的に学び、建築のありかたを考えようとしている	プリント・ノートの取組状況	定期考査の結果等	学習状況の観察

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度